

租税教室の授業内容（例）

概 要	地 域	岐阜県	区 分	中学校
	テ — マ	外国の事例と比較し、日本の税の仕組みを学ぶ		
	授業形態	グループディスカッション方式		
	方 式	事例を基にグループワークを行い、班別に意見発表する。		
	使用教材	パワーポイント資料（独自作成）		
	講 師	税理士		

1 授業の概要

2010 年秋にアメリカのテネシー州サウスフルトン市で実際に起こった火災の事例を題材にして、日本とアメリカの税制の違いやメリット・デメリットについてグループディスカッションすることによって、現代日本の財政の現状と問題点について理解を深める。

2 グループワークの事例

A の住宅で火災が発生したので、急いで消防車を呼んだが、消防隊は一向に来ない。やがて火災は、どんどん燃え広がり、ついに隣の B の家に火は燃え移った。ようやく消防車が来たが、消防隊が消火活動を行ったのは B の家だけで、火元である A の家には消火活動を行うことなく、とうとう A の家は全焼してしまった。

消防隊は、なぜ B の家だけ消火活動をして、A の家に何もしなかったのか。

テネシー州では、消防のサービスを受けるためには、毎年 75 ドルの費用を払う必要があるが、A はそれを支払っていなかった。

日本では、消防・救急・警察等のサービスは、税金でまかなわれているため無料であるが、一方で、多額な財政赤字を抱えていたり、救急車をタクシー代わりに使用する人もいる等の問題もある。

以上の点を踏まえ、グループで日本とテネシー州のそれぞれのメリット、デメリットは何か、これからの日本の税金や財政がどうあるべきかを意見交換することにより、理解を深める。

日本 と 米国テネシー州
あなたならどちらの制度を
選びますか？

1 それぞれのメリット・デメリットは・・・？

2 なぜそれを選んだの・・・？

3 安心して暮らせる街って何・・・？

日 本



アメリカ





3 時間配分等

No.	項 目	分	概 要
1	導入講義	15	講師紹介 税や財政に関する講義（復習を含む）
2	グループワーク	25	事例の説明 グループディスカッション 意見の発表
3	まとめ	10	

